

ますます長期化、深刻化するひきこもり

彼らの自立を支援する志をお持ちの方はいらっしゃいませんか？

私達の施設を使用して支援活動をしてみませんか？

青少年自立支援センタービバハウスの運営にあたってきた私たち（安達俊子・尚男）が高齢となったため、「合宿型」支援を昨年末で打ち切らざるを得なくなりました。（詳しい経過についてはビバハウスのホームページに掲載されている「ビバハウス便り NO.1 2 3」をご覧ください）。それでこれまで使用していたビバハウスの建物を活用し、現在全国で、ますます深刻化、長期化（さらに両親の高齢化）で苦しんでいる若者達の支援活動をしたいと志をお持ちの方に活用して頂きたいと強く願っております。

ビバハウスの建物や備品（生活用品・事務用品・冬の用具・小型軽トラック、除雪機各1台有）やその他支援活動のために活用してきた7ヘクタールの農場（農業用品、ビニールハウス1棟）これらはすぐに使用可能です。

私達もビバハウスでの若者支援17年間の経験を生かしての助言や側面援助は惜しみません。

今、不登校や引きこもり状態にある若者たちを、悩み、苦しみから解き放ち、これからの日本を背負って立つ若者になれるよう応援したいとの思いのある方、是非ご一報お願い致します。

北海道余市郡余市町登町636番地 ビバハウス

TEL：0135-22-0016

メールアドレス：vivahousejp@yahoo.co.jp

ビバハウス

安達俊子・尚男